

芦屋市下水道事業経営戦略(原案)に対する市民意見募集の実施結果について(概要版)

1. 募集期間 平成30年12月17日(月)～平成31年1月26日(土)
2. 提出件数 8人, 28件
3. 取扱区分 A(意見を反映)0件, B(実施にあたり考慮)2件, C(原案に考慮済み)4件, D(説明・回答)22件

| 概 要 | 取扱区分 | 市の考え方 |
|---|------|---|
| 2. 2 民間活力の活用等 | | |
| 資産の活用状況 浸水エリア(ウォーターパーク)の設置と開放【1件】 | | |
| ウォーターパークに放流されている処理水は、処理単価が上水より高いと記憶しているが、検討の必要があるのでは。 | D | ウォーターパークの処理水は、高度処理に加え、膜処理で水質を改善しています。そのため、処理単価は水道単価を上回っていますが、汚水をきれいに処理して自然に戻す下水道事業の役割を市民の皆様方にご理解していただくため、大切な取組と考えています。 |
| 4. 2 投資・財政計画(収支計画)の今後の取組概要 | | |
| ①今後の投資計画についての考え方・検討状況 | | |
| ・ストックマネジメント計画による維持管理の計画的かつ効率化と事業費の削減【2件】 | | |
| 冠水被害を避けるべく、台風シーズンの前には、市でマンホールと側溝の泥さらいをして頂きたいです。 | D | 台風などの豪雨が予測される時期には、事前に雨水樹や雨水排水施設の点検を行います。 |
| 近年のゲリラ豪雨などのポンプ稼働を適切に行うため、降雨が予想される場合のポンプ場の稼働を適切に行うため、民間委託業者に常駐させるなどについて遺憾のないよう配慮されたし。 | C | 台風など豪雨が予測される場合には、委託業者がポンプ場に常駐するとともに職員が重点管理し対応しています。 |
| ・10年確率降雨に対応するため | | |
| ○市立精道中学校地下ピットを利用した雨水貯留施設の設置【1件】 | | |
| 精道中学校の雨水貯留施設については、周辺状況から適切と考えられるが、学校施設の雑用水として有効利用を図るべきである。 | D | 雨水貯留施設は、浸水被害を防止するために、降雨時に一時的に雨水を貯留する施設です。そのため、降雨時以外の日には、貯留槽には水が溜まっていませんので、水の有効活用はできません。 |
| ○JR芦屋駅南地区再開発事業に合わせた雨水貯留施設の設置【1件】 | | |
| JR芦屋駅南地区再開発事業の貯留施設については、費用対効果の点から宮川に直接放流することが妥当と考えられる。 | D | この雨水幹線は、宮川に直接放流されていますが、浸水被害を防止するために、台風等の豪雨時の雨を一時的に貯留する必要があるために、整備するものです。 |
| ○市街地の雨水を速やかに排水するバイパス管の設置【2件】 | | |
| 経営戦略に示されている長期的かつ計画的に進めることが肝要であり、雨水対策としてバイパス管を布設することは有効策であるが、他のライフラインの移設等を伴う多額の費用を要することを考慮に入れなければならない。 | C | 事業費の算定においては、他のライフラインの移設費用を含めて算定しています。実施に当たっては、工法を比較検討しコストダウンに努めます。 |
| 雨水貯留施設の設置やバイパス管を設置するといった雨水整備を行うのなら、芦屋で実際冠水被害のあった、涼風町・南浜町・呉川町・西蔵町でもする事を検討して下さい。 | C | 南芦屋浜地域は、10年確率降雨に対応済みです。このたび、浸水した呉川町・西蔵町地区は、上流でバイパス管を設置することで10年確率降雨に対応することとしており、経営戦略に含まれています。 なお、浸水原因は、国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」で示されています。 |
| ・合流式下水道の改善(岩園町の分流化)【3件】 | | |
| 岩園町の分流化については、賛成であるが、仲ノ池を貯留施設にすることは反対です。水質汚染につながり生態系に影響が懸念される。 | D | 仲ノ池は、現状でも一部の流域から道路表面排水を受けていますが、計画設計時にゴミ等が流入しないような対策を実現できる場合に、貯留を検討します。 また、夏場の水位低下防止や池の水循環を促進させることで、生態系にもより良い環境を創造するように検討します。 |
| 合流区域は26haあり、設計降雨強度が1時間流入すると池の排出能力を超え決壊の恐れすら考える。 | D | 岩園町の分流化計画は、合流区域(約26ha)すべてを対象としていません。約7haの流域を対象とし、池の貯留能力を踏まえて雨水を流入させるもので、池の排水能力を超えないように検討します。 |
| 下水道は雨水・汚水を迅速に排除かつ衛生的に処理し、河川・海などに放流し公共水域の環境を守ることを目的としている。当該区域は地形からして雨水を宮川に放流することによって溢水・浸水の恐れは全く無く、貯留施設の必要性はないものと判断される。 | D | 仲ノ池に貯留機能をもたせることで、降雨時における芦屋下水処理場への流入水を低減させることができ、海辺環境の改善にも寄与しますので、計画設計時に、ご意見を踏まえて慎重に検討します。 |

| | | |
|--|---|--|
| ・芦屋下水処理場の高度処理化 【2件】 | | |
| 処理場の高度処理は、是非実現すべきと考える。 | C | 芦屋下水処理場から排水する処理水の水質を改善するために、高度処理を計画的に進めます。 |
| 播磨灘沖では下水処理場での栄養塩管理運転も行われており、現在の大阪湾流総計画等による縛りがあるとしても、将来の水質行政等の動向を見ながら、設置・運営に経費がかかる高度処理の導入には、慎重に検討を行う必要がある。 | D | 芦屋下水処理場から排水する処理水の水質を改善するために、高度処理を計画的に進めますが、ご指摘事項については、慎重に検討します。 |
| ③今後の投資以外の経費についての考え方・検討状況 | | |
| ・大規模地震などの災害が発生した場合に備えての取り組み | | |
| ○台風・高潮等の対応について県等の関係機関と連携し取り組む 【8件】 | | |
| 内水氾濫対策として、南芦屋浜地区の雨水排水管路の放水口付近にポンプ場を新設整備することや、適所に貯水空間や遊水地を作ることも一つの方策だと思います。これ以外にも有効な方法があると思いますが、各種方案をご検討頂き、雨水排水機能の改善強化に大至急取り組んで頂くことを強く要望します。 | D | 国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」では、浸水原因は、「南護岸及びビーチ護岸からの越波による浸水」と再現シミュレーションで分析されています。なお、浸水前に一部の雨水柵から水が溢れ出たとのことをご意見を伺っていますので、高潮が雨水排水管にどのような影響を及ぼしたのかをシミュレーションしているところです。 |
| ○南芦屋浜下水処理場を避難所として活用 【3件】 | | |
| 下水処理施設を避難所として活用とありますが、1次避難所として利用する場合は高さが必要になりますし2次避難所として利用する場合に物資（食料や毛布・救急用品・発電機など）の備蓄が必要となります。収容可能人数などに応じて防災安全課と地元自治会を含めた協議を行っていただき箱だけ用意したということにならないように進めていただきたいです。 | B | 南芦屋浜下水処理場を避難所として利用する場合には、市の関係部署と連携して、取り組みます。 |
| 南芦屋浜下水処理場は津波などによる浸水被害に対して万全の対策が取られているのでしょうか。芦屋下水処理場ではポンプ場が併設されていますが、南芦屋浜処理場ではポンプ場が併設されてません。台風や豪雨、地震時の津波発生時に、各住民の自宅から南芦屋浜下水処理場に至る避難経路を含め、浸水することは無いのでしょうか。万全の対策を取って頂くよう、強く要望します。 | D | 南芦屋浜下水処理場の避難所は、2階に位置し、想定されている津波等の影響を受けません。 芦屋下水処理場は、雨水が流入するためポンプ施設を設置していますが、南芦屋浜下水処理場は、汚水のみ流入であり、設置の必要はありません。 |
| - その他 高潮対策の技術的対策に関する意見 【3件】 | | |
| 潮位変動の考え方、設計潮位の設定と護岸高さの疑問、海面上昇の要因など。 | D | 経営戦略の対象ではありませんが、ご意見として賜ります。 |
| - その他 下水道経営戦略以外に関すること 【2件】 | | |
| 南芦屋浜の対応にあたっては机上の空論ではなく現場に出で観察し考えてください。 | D | 経営戦略の対象ではありませんが、ご意見として賜ります。 |
| 阪神大震災後の涼風町中央付近の仮設焼却炉について写真をみせてほしい。 | D | 経営戦略の対象ではありませんが、ご意見として賜ります。 |

芦屋市下水道事業経営戦略(原案)に対する市民意見募集の実施結果について(詳細)

1. 募集期間 平成30年12月17日(月)～平成31年1月26日(土)
2. 提出件数 8人, 28件
3. 取扱区分 A(意見を反映)0件, B(実施にあたり考慮)2件, C(原案に考慮済み)4件, D(説明・回答)22件
- ※ 〰〰〰 線で意見提出者ごとに区分しています。

| 人 | No | 該当箇所 | 市民からの意見 | 取扱区分 | 市の考え方 |
|---|----|------|--|------|--|
| 1 | 1 | 4.2① | <p>【仲ノ池】</p> <p>岩園町に分流化については、当然賛成であるが、仲ノ池を一時貯留施設とすることには反対です。</p> <p>仲ノ池緑地は自然生態観察公園として国の認可を受けた8,000㎡余の大きな池のある公園であり、市民の憩いの場とした街づくりの拠点である。これを貯留施設とした場合、住宅敷地・道路に降った初期降雨は、大気中や屋根・道路に付着した煤煙やゴミなどを洗い流した排水となり流れ込み、水質の汚染に繋がり、池に生息する生物や植物などの生態系にも影響することが懸念される。</p> | D | <p>仲ノ池は、現状でも一部の流域から道路表面排水を受けていますが、計画設計時にゴミ等が流入しないような対策を実現できる場合に、貯留を検討します。</p> <p>また、夏場の水位低下防止や池の水循環を促進させることで、生態系にもより良い環境を創造するように検討します。</p> |
| 1 | 2 | 4.2① | <p>【仲ノ池】</p> <p>合流区域の面積は約26haあり、時間降雨強度52.9mm/hの雨が降った場合を想定すると流出係数C=0.55であることから1時間に7,564m³の雨水が流入し、数時間も降り続ければ許容量を超えることは明白であり、池の排出能力を超え決壊の恐れすら考える。</p> | D | <p>岩園町に分流化計画は、合流区域(約26ha)すべてを対象としていません。約7haの流域を対象とし、池の貯留能力を踏まえて雨水を流入させるもので、池の排水能力を超えないように検討します。</p> |
| 1 | 3 | 4.2① | <p>【仲ノ池】</p> <p>下水道は雨水・汚水を迅速に排除かつ衛生的に処理し、河川・海などに放流し公共水域の環境を守ることを目的としている。当該区域は地形からして雨水を宮川に放流することによって溢水・浸水の恐れは全く無く、貯留施設の必要性はないものと判断される。</p> | D | <p>仲ノ池に貯留機能をもたせることで、降雨時における芦屋下水処理場への流入水を低減させることができ、海辺環境の改善にも寄与しますので、計画設計時に、ご意見を踏まえて慎重に検討します。</p> |
| 1 | 4 | 4.2① | <p>【バイパス管】</p> <p>経営戦略に示されている長期的かつ計画的に進めることが肝要であり、雨水対策としてバイパス管を布設することは有効策であるが、ただ、他のライフラインの移設等を伴う多額の費用を要することを考慮に入れなければならない。</p> | C | <p>事業費の算定においては、他のライフラインの移設費用を含めて算定しています。実施に当たっては、工法を比較検討しコストダウンに努めます。</p> |
| 1 | 5 | 4.2① | <p>【ポンプ場】</p> <p>今一つは、浸水対策に大きな役割を担う大東・南宮雨水ポンプ場の機能を充分発揮させることが求められる。</p> <p>近時の特に降雨期のゲリラ豪雨や台風時の降雨量は過去の実績値を上回っており、ポンプの稼働を適時適切に行うことが浸水を防止する上で必須条件であると過去の経験に照らして思料するので、民間委託の内容(例えば降雨が予測される場合に常駐させるなど)について遺憾のないよう配慮されたい。</p> | C | <p>台風など豪雨が予測される場合には、委託業者がポンプ場に常駐するとともに職員が重点管理し対応しています。</p> |
| 1 | 6 | 4.2① | <p>【精道中学校の雨水貯留施設】</p> <p>精道中学校の雨水貯留施設については、周辺地域の地形等の状況から適切だと考えられる。貯留水は、学校施設の雑用水として有効活用を図るべきである。</p> | D | <p>雨水貯留施設は、浸水被害を防止するために、降雨時に一時的に雨水を貯留する施設です。そのため、降雨時以外の日には、貯留槽には水が溜まっていませんので、水の有効活用はできません。</p> |
| 1 | 7 | 4.2① | <p>【JR芦屋駅南地区の雨水貯留施設】</p> <p>JR芦屋駅南地区再開発事業の貯留施設については、費用対効果の点から宮川に直接放流することが妥当と考えられる。</p> | D | <p>この雨水幹線は、宮川に直接放流されていますが、浸水被害を防止するために、台風等の豪雨時の雨を一時的に貯留する必要があるために、整備するものです。</p> |
| 1 | 8 | 4.2① | <p>【下水道の高度処理】</p> <p>処理場の高度処理は、是非実現すべきと考える。</p> | C | <p>芦屋下水処理場から排水する処理水の水質を改善するために、高度処理を計画的に進めます。</p> |
| 1 | 9 | 2.2 | <p>【ウォーターパーク】</p> <p>最後に、ウォーターパークに放流されている処理水は、処理単価が上水より高いと記憶しているが、検討の必要があるのでは。</p> | D | <p>ウォーターパークの処理水は、高度処理に加え、膜処理で水質を改善しています。そのため、処理単価は水道単価を上回っていますが、汚水をきれいに処理して自然に戻す下水道事業の役割を市民の皆様方にご理解していただくため、大切な取組と考えています。</p> |

| | | | | | |
|--------|----------|------|--|---|---|
| 2 | 10 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】</p> <p>芦屋市原案では、浸水から都市を守り、災害時にも安定して機能する下水道を目指します。</p> <p>浸水被害の軽減、に関連して、</p> <p>③今後の投資以外の経費についての考え方・検討状況</p> <p>・本市では、大規模地震などの災害が発生した場合に備えて、次のような取組を進めていく予定です。</p> <p>○ 台風・高潮等の対応については、県等の関係機関と連携して取り組みます。</p> <p>とありますが、特に今回2018年台風21号による高潮が越波し浸水した南護岸及びビーチ護岸に隣接した周回道路での高潮越波内水排水対策の具体案（例えば雨水貯留施設等）の早期明示と早期建設を要望します。</p> <p>芦屋市民の安全・安心の確保の観点からは、現在最優先の喫緊の課題です。</p> <p>県の高潮ハード対策は、来年度早々の着工を目指しており、それに伴って想定外の越波によっても街区が浸水しない、内水対策が早期に必要なと考えています。</p> | D | <p>国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」では、浸水原因は、「南護岸及びビーチ護岸からの越波による浸水」と再現シミュレーションで分析されています。</p> <p>なお、浸水前に一部の雨水桝から水が溢れ出たとのこと意見を伺っていますので、高潮が雨水排水管にどのような影響を及ぼしたのかをシミュレーションしているところです。</p> |
| 3 4 | 11 12 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】</p> <p>今回2018年台風21号による高潮が越波し浸水した南護岸及びビーチ護岸に隣接した周回道路での高潮越波内水排水対策の具体案（例えば雨水貯留施設等）の早期明示と早期建設を要望します。</p> <p>芦屋市民の安全・安心の確保の観点からは、現在最優先の課題です。県の高潮ハード対策は、来年度早々の着工を目指しており、それに伴って想定外の越波によっても街区が浸水しない、内水対策が早期に必要なと考えています。</p> | D | 同上 |
| 3 4 | 13 14 | 4.2③ | <p>【南芦屋浜下水処理場避難所】</p> <p>下水処理施設を避難所として活用とありますが、1次避難所として利用する場合は高さが必要になりますし2次避難所として利用する場合に物資（食料や毛布・救急用品・発電機など）の備蓄が必要となります。</p> <p>収容可能人数などに応じて防災安全課と地元自治会を含めた協議を行っていただき箱だけ用意したということにならないように進めていただきたいです。</p> | B | 南芦屋浜下水処理場を避難所として利用する場合には、市の関係部署と連携して、取り組みます。 |
| 5 | 15 | 4.2③ | <p>【南芦屋浜下水処理場避難所】</p> <p>「芦屋市下水道事業経営戦略(原案)」には、「大規模地震などの災害が発生した場合に備えて」、「南芦屋浜下水処理場を避難所として活用」することが記載されていますが、南芦屋浜下水処理場は津波などによる浸水被害に対して万全の対策が取られているでしょうか。</p> <p>同様の立地である若葉町の芦屋下水処理場にはポンプ場が併設されていますが、陽光町の南芦屋浜下水処理場にはポンプ場が併設されていません。台風や豪雨、地震時の津波発生時に、各住民の自宅から南芦屋浜下水処理場に至る避難経路を含め、浸水することは無いのでしょうか。災害時の緊急避難場所として整備するのであれば浸水の可能性を完全に排除する必要があります。万全の対策を取って頂くよう、強く要望します。</p> | D | <p>南芦屋浜下水処理場の避難所は、2階に位置し、想定されている津波等の影響を受けません。</p> <p>芦屋下水処理場は、雨水が流入するためポンプ施設を設置していますが、南芦屋浜下水処理場は、汚水のみ流入であり、設置の必要はありません。</p> |
| 5 | 16 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】</p> <p>南芦屋浜地区では地盤沈下により分流式下水道の雨水排水機能低下が懸念されており、改善改良が必要と考えます。</p> <p>昨年9月の台風21号来襲時に南芦屋浜地区で浸水被害が発生しました。浸水した時間帯は偶然ほとんど雨が降っていなかったため、降雨による内水氾濫は顕在化しませんでした。しかし、従来の想定を超える高潮高波の潮位により、分流式下水道の雨水排水機能が十分機能していたとは断言できないと思います。雨水排水機能が完全であれば、高潮高波で越波した海水による住宅浸水被害は軽減出来たかも知れません。</p> <p>内水氾濫対策として、南芦屋浜地区の雨水排水管路の放水口付近にポンプ場を新設整備することや、適所に貯水空間や遊水地を作ることも一つの方策だと思えます。これ以外にも有効な方法があると思いますが、各種方案をご検討頂き、雨水排水機能の改善強化に大至急取り組んで頂くことを強く要望します。</p> | D | <p>国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」では、浸水原因は、「南護岸及びビーチ護岸からの越波による浸水」と再現シミュレーションで分析されています。</p> <p>なお、浸水前に一部の雨水桝から水が溢れ出たとのこと意見を伺っていますので、高潮が雨水排水管にどのような影響を及ぼしたのかをシミュレーションしているところです。</p> |

| | | | | | |
|---|----|------|---|---|---|
| 5 | 17 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】 「芦屋市下水道事業経営戦略(原案)」の「4. 経営の基本方針」のページに、基本方針1として「安全なまちづくりの下水道」と書かれていますが、その後に記載されている各論を見ると、残念ながら昨年9月の台風21号による浸水被害対策が不十分と考えます。 昨年9月の台風21号による浸水被害対策について、国土交通省近畿地方整備局が立ち上げた「大阪湾港湾における高潮対策検討委員会」で検討が進んでいますが、その中に内水氾濫対策についても検討すると記載されています。 内水氾濫対策については下水道関係の事案が多く出てきますが、下水道については芦屋市の管掌となるため、国や県と連携して速やかに具体策を検討し、実施に移すことを強く要望します。</p> | D | 同上 |
| 6 | 18 | 4.2③ | <p>【内水氾濫・宮川冠水】 2018年9月4日の台風21号で、涼風町・南浜町・呉川町・西蔵町が冠水しました。冠水の原因究明と対策をして頂きたいです。 涼風町・南浜町に関しては、下水管(分流式なので、この場合雨水管)を通じての内水氾濫もあったと思われます。 原因究明と対策をお願いします。 ポンプ場の設置が良いのか、その場合停電時の稼働方法も併せてご検討下さい。</p> | D | <p>国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」では、浸水原因は、「南護岸及びビーチ護岸からの越波による浸水」と再現シミュレーションで分析されています。 なお、浸水前に一部の雨水樹から水が溢れ出たのご意見を伺っていますので、高潮が雨水排水管にどのような影響を及ぼしたのかをシミュレーションしているところです。 呉川町・西蔵町での浸水原因は、宮川から越流したためです。そのため護岸の嵩上げ工事が平成32年の出水期までに予定されています。</p> |
| 6 | 19 | 4.2① | <p>【冠水被害】 前回のよう冠水被害を避けるべく、台風シーズンの前には、市でマンホールと側溝の泥さらいをして頂きたいです。今回、冠水したのは、排水がスムーズに行かなかったというも挙げられます。松の葉や砂がたまっていました。 マンホールも側溝も特別な器具がないと開けられないようになっていました。 台風21号の後、ベランダ駐車場前の側溝を見ても、砂が詰まっていた。</p> | D | <p>台風などの豪雨が予測される時期には、事前に雨水樹や雨水排水施設の点検を行います。</p> |
| 6 | 20 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】 潮芦屋ができて20年ですが、今までこのような被害がなかったのは、台風21号が何十年に一度の台風だったからというだけでなく、昨今急速に家が建って行き、雨水を吸収する土が表面に出る部分が減り、水を吸収しきれなくなったのではないのでしょうか。 内水氾濫がまた起こりえるとなれば、遊水地を持つ必要があるのでは。</p> | D | <p>国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」では、浸水原因は、「南護岸及びビーチ護岸からの越波による浸水」と再現シミュレーションで分析されています。 なお、浸水前に一部の雨水樹から水が溢れ出たのご意見を伺っていますので、高潮が雨水排水管にどのような影響を及ぼしたのかをシミュレーションしているところです。</p> |
| 6 | 21 | 4.2③ | <p>【内水氾濫】 大阪湾全体で海面上昇するように見受けられます。 (例：阪神伝法、福駅の嵩上げ https://trafficnews.jp/post/63051?fbclid=IwAR2_20yo5fJg5NR3PNahDp014VxkkMB9fqo1_jc5EZxav9aRY4gB0Yt8jqc) 埋立地が増えた事、地球温暖化により海面上昇しているのもあるのではないのでしょうか。 雨が降っていない大潮の時期あたりに、雨水マンホールの水位を1時間ごとくらいに計測してその変化をグラフにし、気象庁の潮位変化と比較してみればどうでしょうか。 一日中計測する必要がありますが、海の影響がよくわかると思います。</p> | D | <p>経営戦略の対象ではありませんが、ご意見として賜ります。</p> |
| 6 | 22 | 4.2① | <p>【バイパス管】 10年確率降雨に対応するため、雨水貯留施設の設置やバイパス管を設置するといった雨水整備を行うのなら、芦屋で実際冠水被害のあった、涼風町・南浜町・呉川町・西蔵町でもする事を検討して下さい。</p> | C | <p>南芦屋浜地域は、10年確率降雨に対応済みです。 このたび、浸水した呉川町・西蔵町地区は、上流でバイパス管を設置することで10年確率降雨に対応することとしており、経営戦略に含まれています。 なお、浸水原因は、国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」で示されています。</p> |

| | | | | | |
|---|----|------|--|---|---|
| 7 | 23 | 4.2① | <p>【下水の高度処理】</p> <p>「芦屋下水処理場は、大阪湾のより良い水質環境をめざして、従来の高級処理施設を高度処理化します」とのことだが、大阪湾の水質は、沖合の海域でのCODを除いて、環境基準を満足している。平成27年には、瀬戸内海環境保全特別措置法が改正され、現在、環境省や自治体では、豊かな海とする栄養塩類の調査検討が行われている。また、播磨灘等では、下水処理場での栄養塩管理運転も行われており、現在の大阪湾流総計画等による縛りがあるとしても、将来の水質行政等の動向を見ながら、設置・運営に経費がかかる高度処理の導入には、慎重に検討を行う必要がある。</p> | D | 芦屋下水処理場から排水する処理水の水質を改善するために、高度処理を計画的に進めますが、ご指摘事項については、慎重に検討します。 |
| 8 | 24 | 4.2③ | <p>【高潮対策】</p> <p>尼崎西宮芦屋港における高潮対策の考え方では、潮位変動が全く考慮されていない。考え方自体が古すぎるので、新しい考え方に改めてほしい。</p> <p>朔望平均満潮位に海面変動量（温暖化や台風による海面上昇量）をプラスした数値を基準点としていない。高潮常習地帯の大阪湾では、最大潮位偏差は3.00mを用いると決められているはず。</p> <p>潮位変動や海面変動量を考慮すると、防潮堤高T.P.+5.2mよりも潮位の方が高くなる。設計段階から護岸の高さは、おかしかったのではないかと。</p> | D | 経営戦略の対象ではありませんが、ご意見として賜ります。 |
| 8 | 25 | 4.2③ | <p>【高潮対策】</p> <p>潮位変動や海面変動量を考慮すると、防潮堤高T.P.+5.2mよりも潮位の方が高くなる。設計段階から護岸の高さは、おかしかったのではないかと。</p> | D | 同上 |
| 8 | 26 | 4.2③ | <p>【高潮対策】</p> <p>大阪の舞洲、南港、北港、兵庫の尼崎港、鳴尾浜、甲子園浜、西宮浜、南芦屋浜、深江浜、魚崎浜、神戸空港から見える海面水位、大阪の淀川、兵庫の神崎川、武庫川の水位が、4年前よりも上昇しているのではないかと感じた。</p> <p>地図で大阪湾を見ると、埋立地が過密に密集していて、沿岸部の地形もほとんど変わっている。</p> <p>大阪湾では過密に埋立地を造成したまたは造成している影響で、湾内の潮汐に影響が出ているのではないかと。また、河口周辺、沿岸部周辺、埋立地周辺の水位や海面上昇の要因になっているのではないかと。</p> | D | 同上 |
| 8 | 27 | - | <p>【職員について】</p> <p>職員にお願いしたいことは、机上の空論はやめて下さい。現場に出て色々と観察して考えて下さい。</p> | D | 同上 |
| 8 | 28 | - | <p>【仮設焼却炉】</p> <p>阪神大震災後、涼風町中央付近にあった仮設焼却炉の写真を見せて下さい。</p> | D | 同上 |